

中部日本横断自動車道が開通していく中で、
皆様の日々の暮らしや環境、事物、事象など、
さまざまな形で変化が起きているのではないのでしょうか？

道が繋がることで生まれる新しい出会いやビジネス。
そして行ったことのない場所や地域、その土地に根付いている様々な伝統や芸能。
時間と空間が縮まり、人々が動くことで生まれてくる新しい「文化」。

今回の2020 ROUTE 日本海—太平洋シンポジウムでは、道が繋がることで生まれる
「文化」—「繋がっていく文化、広がっていく文化」にスポットを当て、
「道」を通じて「文化」が伝搬していく様子を、
ひとつの大きな物語としてお届けいたします。



渋谷和宏



yosuko



あまる



ジョー次



わっしょいゆへた



静岡大学ダンス部



武市都生実、益子有輝、岡本明莉、下園あいり、勝山優



足久保太鼓

「道」により地域が、人々が、より強固に繋がり、結び付き、
それぞれの「文化」を伝播し、そして新しい「文化」が誕生していく。

この「文化」が伝播していく様子を表現するために、
「まちは劇場」を推進する静岡市のメインコンテンツである大道芸をはじめ、
静岡にゆかりのある人々のパフォーマンスや伝統的芸能を組み合わせ、
ひとつの物語を創り上げていくことに挑戦しました。

静岡の大道芸人たちによる壮大なエンターテインメント。
静岡大学ダンス部による若いエネルギーに満ちたダンス。
静岡伝統の足久保太鼓によるダイナミックな演奏。

また、基調講演では作家であり経済ジャーナリストの渋谷和宏氏より、
経済的な視点から、道路が持つ文化貢献や文化波及について語っていただきます。
静岡出身のシンガーソングライター Yosuko さんには、このシンポジウムの
オリジナルテーマソングである「ROUTE」を中心に、表現者の視点から
「繋がり」と「広がり」をテーマにライブパフォーマンスを行っていただきます。

ひとつひとつの人や文化が、繋がりが広がり、
最後には全員がひとつになって物語を紡いでいく、
この壮大な「道と文化の物語」をご体感ください。

今回、総合演出として演出家の大谷賢治氏をお迎えして、
この「道と文化の物語」を創り上げていただきました。
舞台芸術、伝統芸能、ダンス、そして講演を通じて、
シンポジウムをひとつの大きな物語として体験していただき、
中部日本横断自動車道開通による「道がもたらす文化伝播」を
ご来場の皆様にも感じていただければと願っております。

道から生まれる新しい世界、そして大きく広がる未来。
「君は太平洋を見たか、僕は日本海を見た。」
それでは最後までお楽しみください。



構成・演出／大谷賢治郎
音楽／青柳拓次
映像／八木克人
振付・演出助手／大谷恵理子 森山馨子
衣装アシスタント／勝山優
舞台監督／清水義幸
制作／company ma

繋げる、広げる、
届けよう文化。

中部日本横断自動車道が担う、人の流れ、出会い、繋がりと絆。